



### シシオザルたてがみ復活への道！！

みなさんはかみねで飼育しているシシオザルという動物を知っていますか？

我らがウ○キ先生に聞いてみると・・・

「全身が黒い体毛で覆われる。顔の周囲にはたてがみ状に灰色の体毛が伸長する。」

ふむふむ、黒くてライオンの顔のようなたてがみがあるおサルなんだな。



※出典：Wikipediaより

おおお～～、確かにライオンのようなたてがみがあって王者の風格も感じられる・・・これぞキング・オブ・モンキー。

かみねのHPでは??

「しっぽの先がライオンの尾に似ていることからシシオザル。顔の周りにもライオンのようなたてがみ状の毛があります。」

おっっ！どのくらいふさふさなんだ??

楽しみ～～～～～～！！

↓

↓

↓

↓

↓



????????????????

あれ！？たてがみが無い・・・  
そうなんです。かみね動物園では  
パピーのつよしくん、マミーのさくらちゃん、  
そして、娘のゆきちゃん、計3頭のシシオザルを  
飼育しているのですが、ゆきちゃんを除き  
つよしくんとさくらちゃんはたてがみが乏しいのです、、  
※ちなみに写真はつよしくんです。

そこで、密かに始まっていたシシオザルたてがみ復活作戦！  
その一部始終をお見せします！←ここからが本題です笑

つよしくん（20歳）、さくらちゃん（19歳）と飼育下で30歳くらい  
生きると言われるシシオザルでは若いとは言えない固体です。  
年のせい??・・・ですがそれでは話が終わってしまうため、  
最初にエサを疑ってみました！！



こちらシシオザルのエサです。  
メニューはさつまいも、にんじん、りんご、ばなな  
キャベツ、サル用のビスケットなどなど。

毛に関する栄養として大事なものは  
大まかに言うとたんぱく質・ビタミン・ミネラルです（飼育員調べ）。  
このメニューではシシオザルがたてがみを生やすのに  
十分な栄養を取れていないのでは？と思い  
メニューを少し考えなおしてみました！

するとなんと！  
つよしくんに少しですがたてがみの兆しが！！！！



<before>



<after>

顔周り少しふさふさになっていますね♪  
これからもたてがみ復活作戦は続けていきますので  
動物園に来た際はたてがみどうなっているかな？と  
モンキー館を覗いてみてください！！

(マグロよりサーモン派 新人飼育員・染谷)

2019年1月24日

## どうぶつカルタ大会を開催しました

### どうぶつカルタ大会を開催しました！

当園では毎年恒例のカルタ大会を開催しました。  
カルタ大会は小学生の部と親子の部で分かれておこなわれます。  
各部の様子を紹介しましょう。

#### 【小学生の部】



「園長が読み札を読み、スタートの合図待つ」 「狙いのカルタにまっしぐら」



「滑り込みでゲット！！」



「だれが早くとったかな？」

【親子の部】



「スタートも合図までガマンガマン」「手をつないで正解のカルタはどこかな？」



「トラカルタゲット！よく頑張りました！」

毎年白熱するイベントですが、今年もケガなく終わることができました。  
動物の特徴をなじみのあるカルタで、お勉強できましたか？  
今年は全部で36種類のカルタでしたが、来年は新しく加わった爬虫類のカルタが増えてるかも。

参加者に人気があったのは、このカルタは  
↓↓↓



【エンチョウの かおはあらぶの せきゆおう】

説明) かみね動物園に生息し、立派にたくわえたヒゲはボスの証しです。声が大きく長距離を速く走れます。好きなエサはアルコール入りの飲みものです。

来年もお楽しみにー

## イチゴ11歳！

1月5日（いち・ごの日）イチゴちゃんが11歳をむかえました！



（イチゴちゃん）

かみね動物園にやってきて3回目のお誕生日です。

毎年恒例集まってくれた方々と一緒にケーキの盛り付けをして準備万端！！豪華なケーキになりました☆



さあいよいよプレゼント♪

と思っていたのですが、ハプニング発生！ケーキをイチゴちゃんに食べてもらうには1番最初に運動場に出てもらう必要があるためお部屋で待ってもらっていたのですが、なんとゴヒチ君がお部屋に戻ってくれない…



（ゴヒチ君）

チンパンジーたちのお家には専用の通路があり、各自のお部屋に入る構造になっています。が、ゴヒチ君は何かを感じ取ったのかその通路から動いてくれない状態に…そこを通らないとイチゴちゃんは運動場に出られない…どう頑張っても一緒にのタイミングで運動場に出ることに…

ケーキの他にもプレゼントは用意しましたが、皆さんと一緒に作ったケーキを食べてもらいたい！どちらが先にケーキに辿り着くのかは運次第！さあ結果はいかに！！



(走るイチゴちゃん)

やっぱりゴヒチ君がケーキをゲット…主役のイチゴちゃんは他のプレゼントはゲットできましたが、ケーキは食べられず。一緒に作ってくれた方々もちょっと残念そうに観ていました。



(ケーキを頬張るゴヒチ君とダンボールに入ったプレゼントをとりだすイチゴちゃん)

でも、ここでゴヒチ君の名誉のために言い訳を…

イチゴちゃんがチンパンジー社会のお勉強を始めたのは約2年前のかみね動物園にやってきてから。それまでひとりで暮らしていたイチゴちゃんはチンパンジー社会のルールや約束事が分からずトラブルを起こしがちです。それでも新入りのイチゴちゃんをオス達はかばってくれます。特に現リーダーのユウ君よりゴヒチ君のほうがトラブル発生時すぐに駆けつけてくれます。なので今回のケーキはイチゴちゃんからの日ごろの恩返しという事にしておきましょう！！



(みんなと過ごすイチゴちゃん)

上にも書きましたが、11歳になったイチゴちゃんですがチンパンジー達と一緒に暮らし始めてからはまだ2年ちょっと。

来たばかりのころは一人にいる事も多かったのですが、今では自分からちょっかいをだして遊びに誘ったり、みんなが騒いでいると一緒に騒いだりと距離が縮まってきています。



まだまだな部分もありますがゆっくりゆっくりイチゴちゃんなりに成長しているんだと感じる日々です。

さて来年のお誕生日はどうなることやら…イチゴちゃんの成長ぶりも含め1年後を楽しみにお待ちしております！！

(平成が終わっちゃうのが信じられない昭和生まれのチンパンジー担当 おおぐり)

2019年1月10日

## みんなでクリスマスZOO！

ホッ ホッ ホー

わしはサンタクロースじゃ！

去年のクリスマスは、かみね動物園の動物たちにプレゼントを持って行ったのじゃ！

少し早いクリスマスプレゼントとなってしまったのじゃが、動物たちみんなが喜んでくれたようじゃ！

12/22、23、24の3日間、午前と午後の2回行ったのじゃが、とっても楽しかったぞ！

わしとトナカイだけでは、動物たちにプレゼントするのが大変だったので、みーんなに手伝ってもらったのじゃ、とーっても助かったぞ！みんなありがとう！

とーっても、楽しかったので、その時の様子をこっそりみんなに紹介するぞ！

まずは、わしとトナカイの登場じゃ！みーんなが迎えてくれたぞ！



動物たちにプレゼントしている様子じゃが



ゾウさんへ竹のプレゼント、中にはゾウさんの好きなものをみんなで詰めたのじゃ！

次の動物は？？？



いろんなところにプレゼントをおくと！！！！





チンパンジーたちがプレゼントをもらっていたぞ！

まだまだ、他にもたくさんの動物たちにプレゼントしたぞ！



リースを作ってプレゼントしたり、  
プレゼント！



カンガルーにはちょっと変わったリースを  
プレゼント！



キリンさんには、みんなで葉っぱのプレゼントをしたり、



カバのチャポンには、見習いサンタがプレゼントしたのじゃが、チャポンは早く欲しくてお口をアーン！



はい、どうぞ！と見習いサンタがプレゼントを渡すと、お口をパクン！おいしそうに食べておった！

まだまだ、他にもたくさんの動物たちにプレゼントができた。

クリスマスなので、たくさんの動物たちにプレゼントしたのじゃ！ ホツ、ホツ、ホ！

今年のクリスマスも何かやるので、みんな楽しみにしていておくれ！

ホツ、ホツ、ホー

2019年1月9日

---

### クマのすみかがかくれんぼ！？

いつものようにクマ舎で作業をしていると、何か違う？何かが隠れています。



？

分かります？



？

よく見ると。



みつけた！正解はアマガエル？でした。

でも何でこんな所に？そういえば春頃にニッポンツキノワグマのプールにオタマジャクシがたくさんいたなあ～ 大きくなったんだあ～

でもアマガエル？って緑色だったような。本当にアマガエルなのかな？ってこと調べてみました。

アマガエルは生息している環境の色に反応し、外敵から身を守るために体色を緑色、茶色、灰色、白色に変えられることが分かりました。



(よくみるアマガエル)

体色を変えるカエルってとても興味深いですね。

生き物には色々な不思議がいっぱいあります。皆さんも生き物ハンターになってふしぎ発見してみよう！

担当 きむら

2019年1月7日

---

## へビにかわってこんにちは

動物園に入り、ゾウを右手に見ながら坂を登ると…目の前に広がるのはサルの楽園エリア。ここには全部で8種類のサルたちが暮らしています。



(サルの楽園に暮らすサルたち／左：マンドリル 右：サバンナモンキー)

中でもお客さんの注目を集めているのは、こちら。



(サル? いいえ、ビルマニシキヘビです。)

サル、サル、サル、ヘビ! と、突如現れるこの大きなヘビに、驚き、怖がり、時には感動!!

…ヒトの反応をみているのが楽しくなるほど、様々なリアクションが見られていました。

しかし、この度新しく「はちゅうるい館」ができあがり、ヘビさんは新たなお部屋に引っ越すこととなりました。



(あ～、快適快適。)

人気だったサルの楽園のヘビのお部屋はご覧の通りすっからかんに。一体次は何がやってくるのか、気になりますよね?



(すっからかんに…)

そんな期待の中、やってきたのは…こちら!!



(僕たちです!!)

お隣で過ごしていたワタボウシパンシエが引っ越してきました！何だか騙された！なんて思うかもしれませんが、よく見ると右と左で違うんです。



(よ〜くみて!!)

わかりましたか？

左が「ワタボウシパンシエ、チームメス」で、右が「ワタボウシパンシエ、チームオス」！

同じ種ですが、性別が違いました～！

以前はメス群れが過ごしているお部屋にみんなで暮らしていましたが、順調に繁殖が進んだこともあり、ちょっとお部屋が狭くなってきました。そこで、もう少し広々と過ごしてもらうことと、繁殖を一旦休憩するため、男の子たちは隣の部屋にお引越しをしました。



(ちょっとせまいかも…)

ワタボウシパンシエはつがいとその子供たちからなる家族で生活しています。産子数は1~3頭ですが、2頭産むことが多いです。また、面白いのはその子育て方法で、父親や兄姉も子育てに参加します。年に2回繁殖をすることもあるため、母親の次の繁殖に向け家族みんなで赤ちゃんの面倒を見てくれます。かみね動物園でも赤ちゃんが生まれると、取り合いのようにも見えますが、みんなで交代しながら背負う姿をよく見かけます。



(みんなで子育て♪)

とっても相性が良いはる(♀)といっちゃん(♂)、子供が増えることは非常に嬉しいことなのですが、このまま繁殖をつづけると飼育環境に見合った個体数を維持できないことや、近親交配などの問題も出てきます。

動物園の動物たちは自園だけで繁殖を進めている訳ではなく、全国、時には海外の動物園と協力しながら繁殖に取り組んでいます。適切なタイミングで個体の交換などしつつ、計画的に繁殖に取り組むことはとても大切なことなのです。

という訳で、色々な事情がありワタボウシパンシエ2連続展示となっていますが、これを機にオスメスの違いだったり、個体の違いにも注目して見て頂けたらと思います！

識別は非常に難しい！？ですが、是非チャレンジしてみてください♪



(昨年10月に生まれたうり(♂)、大分大きくなりました！)

(へビ仕様からサル仕様のお部屋にするのにかなり苦労しました…。 飼育員 木村加)

2019年1月2日

---